

アシスト AI テラス、ガバナンス機能を備えた AI エージェントプラットフォーム「QueryPie AIP」を提供開始

AI エージェント・MCP※の導入から安全な運用までを一元化し、企業の AI 活用と
ガバナンスの両立を実現

アシストグループの株式会社アシスト AI テラス(本社:東京都千代田区、URL:<https://www.ashisuto.co.jp/ai-terasu/>、以下「アシスト AI テラス」)は、QueryPie AI 合同会社(本社:東京都港区、URL:<https://www.querypie.ai/>、以下「QueryPie AI」)と国内販売代理店契約を締結し、AI エージェントプラットフォーム「QueryPie AI プラットフォーム(以下「QueryPie AIP」)」を提供開始することを 2026 年 8 月 6 日付で発表します。

※MCP(Model Context Protocol):AI エージェントが外部のツールやデータソースと接続するための標準プロトコル

生成 AI は、質問への回答や文章の生成にとどまらず、複数の業務ツールやデータソースと連携し、情報収集、分析、文書作成、定型業務の実行まで担う AI エージェントへと活用範囲が広がっています。一方で、AI エージェントが企業のデータやシステムにアクセスし、処理を実行するためには、従来の AI チャットにはなかった管理上の課題が生じます。

- AI エージェントにどのデータを利用させ、どの操作まで許可するかを定義しづらい
- AI エージェントや MCP を介したアクセスが増え、誰が何を実行したか把握しづらい
- 社内文書や業務データを AI に活用したいが、機密情報や個人情報の漏えいが懸念される
- SaaS や社内システムとの連携、AI エージェントの構築・運用に専門人材が必要となる
- AI 活用のために既存インフラを大きく変更すると、導入コストや運用負担が増える

企業が AI エージェントを本格的に業務へ組み込むには、AI の性能だけでなく、データセキュリティ、アクセスガバナンス、監査、導入・運用のしやすさを含めて整備する必要があります。

QueryPie AIP は、企業が保有する業務知識、データ、システムと複数の生成 AI モデルを組み合わせ、業務を理解・判断・実行する AI エージェントの構築・運用を支援する、ガバナンス機能を備えた AI エージェントプラットフォームです。既存のインフラを大きく変更することなく、社内データを利用した AI エージェントの実行環境の構築、SaaS・業務ツールとの連携、利用状況の監査、機密情報の保護までを一つのプラットフォームで管理できる点が特長です。



アシスト AI テラスは、QueryPie AIP の導入検討から環境設定、運用開始後のサポートまでを伴走し、企業が AI エージェントや MCP を安心して活用できる環境づくりを支援してまいります。

以下、QueryPie AI 代表者からのコメントです。

アシスト AI テラスを日本国内における販売パートナーとして迎え、QueryPie AIP をより多くのお客様にお届けできることを大変光栄に思います。AI エージェントや MCP の導入が進む一方で、企業における可視化、権限管理、監査対応の重要性はますます高まっています。アシスト AI テラスの豊富な知見と支援体制により、日本のお客様が安心して AI を活用できる環境づくりを共に推進していけることを期待しています。

QueryPie, Inc. 創業者 兼 CEO Brant Hwang 氏

アシストグループが 50 年以上にわたり培ってきた業務システムとセキュリティの知見を受け継ぎ、AI の導入から運用までを成果起点で支援するアシスト AI テラスとの協業は、当社にとって大きな意義があります。製品を提供する当社と、お客様の現場で導入・運用を伴走するアシスト AI テラス。両社が役割を分担しながら連携することで、日本のお客様が AI エージェントを『安心して業務で使える』状態を、より確かなかたちで実現してまいります。

QueryPie AI 合同会社 代表社員 有延 敬三 氏

■「QueryPie AIP」について

●主な特長

1. MCP と RAG を活用した既存システムとのシームレスな連携・自動化

- MCP アーキテクチャを採用し、Slack、Jira、Salesforce、社内データベースなどの SaaS や業務システムとのシームレスな連携を実現
- 社内データを活用する RAG(検索拡張生成)により企業固有の情報を参照するカスタム AI エージェントを構築し、スケジュール機能で定型的な情報収集やレポート作成などの業務を自動実行
- 特定の LLM やクラウドサービスに固定されず、業務の目的に合わせ、性能、コスト、データの取り扱い方針などに応じて利用するモデルを選択可能

2. 国際基準のセキュリティと厳密なアクセス制御

- GDPR などのグローバルなデータ保護要件に対応し、ISO/IEC 27001、ISO/IEC 27701、ISO/IEC 42001、PCI DSS、SOC 2 Type II などのセキュリティ・コンプライアンス認証を取得。日本国内向けには東京リージョンでデータを安全に運用・管理
- 組織、グループ、ユーザー単位で AI エージェント・MCP ツール・データへのアクセス権限を一元管理し、データベース操作では「参照のみ」や「テーブルの限定」などによる厳密な制御を実現

3. 高度な監査・モニタリングと安全性の確保

- AI エージェントや MCP を介した対話・ツール実行・データアクセスなど全活動を記録・可視化し、問題発生時の原因分析や厳密な監査に対応
- DLP (Data Loss Prevention) 機能により、クレジットカード番号や API キーなどの機密情報を検知し、マスキングや送信制御を実施
- AI 処理のために送信されるデータを外部 AI モデルの学習や長期保存に利用しない設計 (Zero Data Retention) により、企業データを保護
- 企業の内部データのみに基づく回答生成ガードレールを実装し、不正確な情報出力 (ハルシネーション) リスクを低減

4. 従量課金とスモールスタートによるコスト最適化と段階的拡張

- 実際の利用量に応じた従量課金モデルを採用し、月額固定のサブスクリプションと比較して予算を効率的に活用
- コスト削減や価値向上が見込める特定業務に AI エージェントを優先適用し、ROI を可視化した上で強固なガバナンスを維持しながら他部門・自社サービスへ段階的に拡張

● 詳細 URL

<https://querypie.ai/platforms/aip>

● 提供形態

クラウドサービスとして提供

● 提供価格

- 事前購入型のクレジット制で提供
- 利用する AI モデルや機能などに応じてクレジットを消費
- 詳細は要問い合わせ

■「QueryPie AIP」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト AI テラス QueryPie 担当

URL: https://www.ashisuto.co.jp/ai-terasu/contact/form_querypie-aip

■プレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト AI テラス 広報担当: 中尾、林

URL: https://www.ashisuto.co.jp/ai-terasu/contact/form_aboutpr

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ プレスリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。